

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	文書館運営審議会		
日 時	平成22年6月30日(水)13:30～15:30	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館会議室		
出席者	委員：木村会長、小川副会長、海老根委員、大川委員、 野村委員、阿諏訪委員、政田委員（欠席者なし） 事務局：高木副主幹 傍聴者：なし		
議 題	（1）平成21年度寒川文書館事業結果報告について （2）平成22年度寒川文書館事業計画について （3）その他		
決定事項	（1）平成21年度寒川文書館事業結果の承認 （2）平成22年度寒川文書館事業計画の取扱い		
議 事	<p>（1）平成21年度寒川文書館事業結果報告について</p> <p>平成21年度の事業結果報告について、事務局より資料をひとつおり説明した。これに対し、次のような質疑があった。</p> <p>（委 員）公文書の取扱点数の単位になっている「ファイル」とはどのようなものか。</p> <p>（事務局）ファイリングシステムで使用する文書を挟んでしまっておくもの。A3判より一回り大きな色厚紙を2つ折りにしたもので、この中に関連する文書を入れて保管する。ファイル基準表にはこのタイトルが記載され、文書主管課への引継ぎ、非現用文書になったときの文書館への移管もこの単位で行われる。</p> <p>（委 員）国立公文書館主催の全国公文書館館長会議に館長は出席しているのか。</p> <p>（事務局）同会議が全国の最新動向を把握できる絶好の機会であることは承知しているが、ちょうど寒川町の6月議会の開催時期と重なるため、参加したことはない。まして平成21年度は山口県での開催だったので、旅費のこともあり参加を見送った。平成22年度は、会議前日の講演会にのみ担当職員が参加した。</p> <p>（委 員）せめて東京で開催されるときぐらいは、職員の代理で構わないので出</p>		

席した方が良く、そのための旅費もきちんと予算化すべきだ。

(委員) 企画展の展示説明会に比較的多くの人が集まったように見受けられるが、何が原因と考えられるか。

(事務局) テーマ、日程、PR 方法などに左右される。「寒川村ができたころ」の場合は、展示スタート時に加え、11月の町表彰式の当日にも開催し、式出席者を誘導できたことが大きかった。「寒川町公民館の60年」もタイムリーな企画だった上、講演会当日に説明会を設定したのが功を奏した。またタウン紙で記事にしてくれたことも大きい。

(委員) 国際アーカイブズの日をもっと広めるため、全国の公文書館でさまざまな企画をしているが、寒川での取り組みは？

(事務局) 第1回ミニ展示「アーカイブズを考える日」で国際アーカイブズの日を紹介し、国立公文書館の普及ポスターを貼ったりしたが、今後はさらに広められるよう、工夫していきたい。

(2)平成22年度寒川文書館事業計画について

昨年10月の審議会において、平成22年度事業計画について審議していただいたが、その後の緊急財政対策もとの予算編成において、予想以上の予算削減がみられ、事業計画に載っていても実際にできなくなったものが現れた。そこで予算に裏打ちされたものに絞って事業計画を練り直す必要があるとして、事務局案を提示した。これに対し、次のような質疑や意見があった。

(委員) 本日審議したことが事業計画として確定するまでのプロセスを確認したい。

(事務局)

- ①本日の討議の内容を踏まえ、事業計画の修正版を事務局が作る。
- ②修正版を全員に送付して確認してもらう。
- ③異論がなければ、そこで事業計画として確定し、年報第3号に掲載するとともに、インターネットで公表する。

(委員) 事業計画はいきなり「館運営」から始めるのではなく、「はじめに」という項目を設け、文書館をとりまく動向(財政状況、公文書管理法の動きなど)について述べることで、この事業計画を練るに至った背景を誰が読んでもわかるようにしてはどうか。

